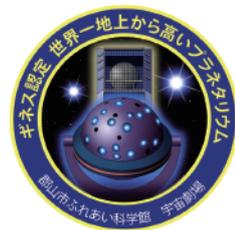


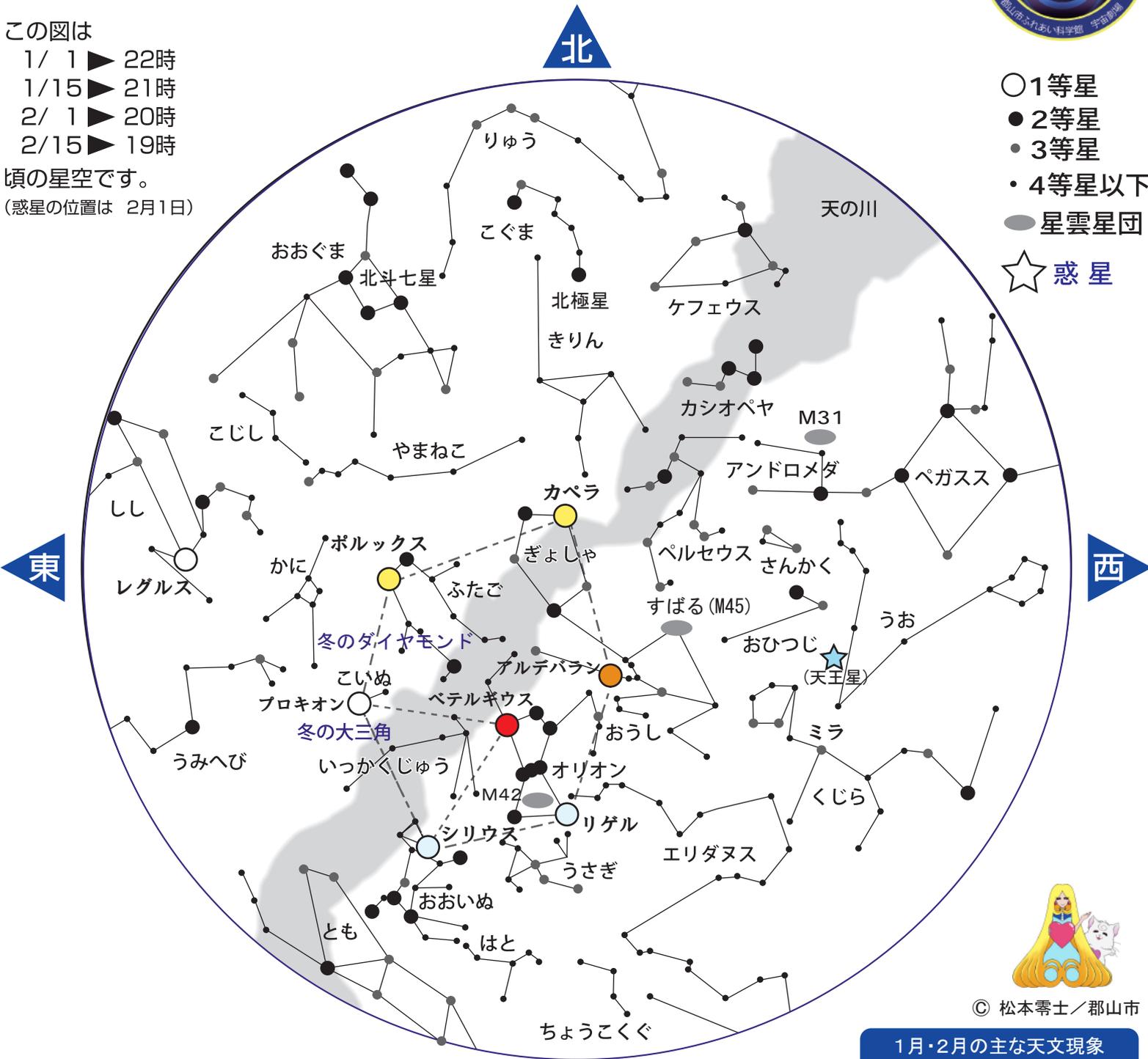
2020年

1月 ▶ 2月の星空



この図は
 1/ 1 ▶ 22時
 1/15 ▶ 21時
 2/ 1 ▶ 20時
 2/15 ▶ 19時
 頃の星空です。
 (惑星の位置は 2月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆ 惑星



© 松本零士 / 郡山市

郡山の日の出、日の入			月の満ち欠け	
1/ 1	6:52	16:31	新月	1/25, 2/24
1/15	6:52	16:44	上弦	1/ 3, 2/ 2
2/ 1	6:42	17:02	満月	1/11, 2/ 9
2/15	6:28	17:18	下弦	1/17, 2/16

※上弦、下弦は半月です。
 ※天王星は肉眼では見えません。

1月・2月の主な天文現象	
1/ 4	しぶんぎ座流星群極大
1/11	半影月食
2/10	水星が西方最大離角
2/20	惑星と月が集合

今年には4年に一度の閏年です。閏年＝夏季オリンピックと覚えていく方も多くことでしょう。そんなオリンピックを前に星空でも盛り上がりを見せています。1月11日には地球の影に月が入り込む月食が起こります。今回は「半影」と呼ばれる影の薄いところに月が入るため、見た目の変化はほとんどありません。しかし、前後と比べるとツヤがなくなったような満月に見えることでしょう。2月に入ると惑星たちが見ごろとなります。夕方の西の空には“宵の明星”として親しまれる金星が美しい輝きを見せています。2月10日には、その金星のそばに水星が輝きます。金星を目印にすると見つけやすいでしょう。この2つは、地球よりも太陽に近いところを公転しているため、望遠鏡で見ると月のように欠けた姿が見られます。一方、明け方の東の空にも惑星たちが集まっています。特に2月20日は、火星、木星、土星、そして月が集まります。寒さが厳しい時季ですが、早起きをした際には、惑星たちに注目してみてください。このように、2月中旬は肉眼で見ることができるとともに、惑星たちを一晩でコンプリートすることができます。それぞれ明るさや色、望遠鏡で見た姿もお楽しみください。

